

令和2年度第5回経営協議会議事要録

日時 令和3年1月20日（水）13：30～15：00

場所 3号館2階第1会議室

出席者 【委員】 森迫学長（委員長）

赤松委員（Web出席）、位高委員、奥村委員、門川委員、
京藤委員（Web出席）、鈴木委員（Web出席）中井委員、西
本委員、堀場委員

小野委員、吉本委員、堤委員、乾委員、日高委員（Web出
席）、大内委員、PEZZOTTI委員

【陪席者】 佐藤監事、清水顧問（Web出席）、総務企画課長、人事
労務課長、財務課長、施設環境安全課長

議事に先立ち、前々回（令和2年度第3回）、前回（令和2年度第4回）
の議事要録について確認が行われた。

議題1．令和2年度補正予算（第2号）編成について

大内人事労務・財務担当副学長から、令和2年度補正予算（第2号）編成につ
いて議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題2．国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書 について

小野大学戦略・総務担当理事から、国立大学法人ガバナンス・コードにかかる
適合状況等に関する報告書について議案書に基づき説明があり、審議の結果、原
案どおり承認された。尚、今後の修正は、学長に一任することとなった。

本件に関し、委員より以下の意見があった。

○国立大学が国民の税金を原資に運営されている以上、原理原則に立って運営
されるべきであるが、理論上の型にはまるだけでなく、独自性を出していくこと
が最適。

○アカデミアは自由度が必要で、独創的な発想やアプローチなどのスピリット

が重要。ガバナンス・コードは必要条件として捉え、よりハイレベルのことを期待したい。外部人材をうまく活用しながら、大学は本来的なスピリットを大事にすべき。

○独自性を出すには、組織のビジョンが肝であり、京都の特徴を強く意識したビジョンとすべき。

○経営人材については、コスト意識、採算意識をどのように身に付けさせるかがポイント。

○大学は「期限」の意識はあまりないため、期限内に最善策を結論付けるといった「期限」の意識を持つことが大事。

報告事項 1. 国立大学法人京都工芸繊維大学職員給与規則等の一部改正について

大内人事労務・財務担当副学長から議案書に基づき報告。

報告事項 2. 令和元年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

小野大学戦略・総務担当理事から議案書に基づき報告。

報告事項 3. 令和3年度運営費交付金等の予定額について

大内人事労務・財務担当副学長から議案書に基づき報告。

報告事項 4. 新型コロナウイルスの感染症対策について

森迫学長より議案書に基づき報告。

配布資料

- 資料 1 令和 2 年度第 3 回、4 回経営協議会議事録（案）
- 資料 2 令和 2 年度補正予算（第 2 号）編成について（案）
- 資料 3-1 ガバナンス・コードの主な経緯
- 資料 3-2 ガバナンス・コード適合状況等報告書（案）
- 資料 3-3 ガバナンス・コード原則実施状況（案）
- 資料 4-1 職員給与規則等改正の概要について
- 資料 4-2 国立大学法人京都工芸繊維大学職員給与規則等の一部改正について
- 資料 4-3 国立大学法人京都工芸繊維大学職員給与規則改正_新旧対照表
- 資料 4-4 国立大学法人京都工芸繊維大学年俸制適用職員給与規則改正_新旧対照表
- 資料 4-5 国立大学法人京都工芸繊維大学期間雇用非常勤職員就業規則改正_新旧対照表
- 資料 4-6 国立大学法人京都工芸繊維大学役員報酬規則改正_新旧対照表
- 資料 5 令和元年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
- 資料 6 令和 3 年度運営費交付金等の予定額について
- 資料 7 新型コロナウイルス感染症対策について

- 参考資料 令和 2 年度経営協議会スケジュール等